



図書館員が選ぶ この一冊

1

『闇の守り人』

上橋菜穂子著 偕成社



『精霊の守り人』から始まる守り人シリーズは全12巻が出版されている。ご紹介するのは第2巻。武人の国カンバル王国に生まれた娘バルサは、陰謀に巻き込まれ、父の親友で短槍使いのジグロと国外へ逃亡することになった。逃亡から25年、故郷に戻る決意をするバルサを待ち受けていたものとは…。

この巻は、バルサの生い立ちとカンバル王国の秘密がわかるため、シリーズ上欠かせない一冊。故郷で明らかになるバルサとジグロの深い絆は、静かな感動を呼ぶ。11月にはNHKドラマ「精霊の守り人 最終章」が始まるので、まだ読んでいない方はぜひご一読を！